

# 2014展望



ACKグループ  
野崎 秀則社長

## 開拓精神あふれる人材育てる

安倍政権発足後、インフラ整備に対する国民の理解は深まったと実感している。公共事業予算も一定程度確保され、国内市場は順調に推移するとあると思っている。経営ビジョンで掲げた2020年の、技術やサービスの質的向上と総合化が求められ、従来の業容にとらわれず経営するという精神は変わっていない。だが、国内公共、国内外民間、海外という3軸経営だけに果たしているのかと言え、欠けている部分がトータルな事業マネジメ

野崎 秀則社長



建設技術研究所  
村田 和夫社長

## コスト競争からの脱却目指す

13年12月期の業績は、単体も連結も中期計画の目標に到達できたと考えている。受注高が増加し、先行きにも明るさが見える。14年の事業環境は、いったん踊り場に入るとみている。体制を整えるた

### 建設コンサルタント

14年の事業環境は、いったん踊り場に入るとみている。体制を整えるた

にもつながっていく。14年は新たな未来を目指す経営ビジョンと新中期経営計画を策定する大切な年でもある。500億円という事業規模は見えていくが、その先をどうするか、1年をかける内容を決めていく。大きな組織変更などは行わず、ビジョンや中期計画を策定する中で進むべき方向性を見いだしていく。